

地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会 【日本農業遺産 日南市かつお一本釣り漁業・ 干し野菜と露地畑作の高度利用システム（宮崎市田野町）編】



令和3年7月29日（木曜日）に県内の小学生を対象とした現地学習会を実施しました！
今回は、日南市と宮崎市田野町をフィールドに令和3年に認定された日本農業遺産について学びました。



〈参加者数〉 11名

〈実施内容〉 ○【日南市】港の駅めいつ

三ツ岩オビスギ遺伝資源希少個体群保護林

○【田野町】道本食品株式会社・道の駅田野

○港の駅めいつ【日南市】

かつお一本釣りの説明を受け、実際に一本釣りをしているような映像が見られるVRを体験しました！

かつおの解体ショーを見学した後は、

昼食に、漁師が船の上で食べている「かつお飯」をいただきました。



○三ツ岩オビスギ遺伝資源希少個体群保護林【日南市】

造船材を産出した飢肥林業についてお話を聞き、飢肥杉の重要性を学びました。そして、保護林の中に入り、樹齢143年になる飢肥杉の幹を測り、子どもたちはその太さに驚いていました。実際に自然に触れながら、海と山が繋がっていることを実感できる活動でした。



○道本食品株式会社【宮崎市田野町】

干し大根ができるまでの工程を見学しました。シーズンオフだったため、実際にやぐらを見ることはできませんでしたが、作り方の過程を学んだ子どもたちは嬉しそうにお土産のたくわんを購入していました。



今回の現地学習会の振り返りの時間には、SDG'sと今回学習したことを関連づけながら感想を共有し、改めて自分たちの地元にある宝について学ぶ貴重な機会となりました。